

大駱駝艦

天賦典式

2012年、パリで産声をあげ、ヨーロッパを熱狂させた「クレイジーキャメル」が宮崎に上陸！
大駱駝艦の草創期を支えた金粉シヨウへのオマージュ！

二人の女学生と一人の男子学生の人生を、ヴィヴァルディの「四季」にのせて紡ぐ愛と青春の舞踏絵巻をぜひ御覧ください！

振舞・演出・美術・舞態：磨 赤兒
Choreography, Artistic direction and cast: Maro Akaji

舞態 Cast
村松卓矢 Muramatsu Takuya
田村一行 Tamura Ikko
松田篤史 Matsuda Atsushi
塩谷智司 Shioya Tomoshi
小田直哉 Oda Naoya
坂詰健太 Sakazume Kenta
荒井啓汰 Arai Keita
阿蘇 尊 Aso Takeru
高桑晶子 Takakuwa Akiko
鉦久奈緒美 Muku Naomi
藤本 梓 Fujimoto Azusa
梁 鐘馨 Yang Jongye
齋門由奈 Saimon Yuna
谷口 舞 Taniguchi Mai
谷口美咲子 Taniguchi Misako
石井エリカ Ishii Erika

音楽：土井啓輔 Music: Doi Keisuke 築山建一郎 Tsukiyama Kenichiro
衣裳：堂本教子 Costume: Domoto Kyoko
美術：安部田保彦 Stage Art: Abeta Yasuhiko
舞台監督：中原和彦 Stage manager: Nakahara Kazuhiko
照明：岩村原太 Lighting: Iwamura Genta
音響プラン：久保勇介 Sound Planning: Kubo Yusuke
音響：相川 晶 Sound: Aikawa Akira
宣伝写真：川島浩之 Photograph: Kawashima Hiroyuki
宣伝美術：松田篤史 Graphic design: Matsuda Atsushi
制作：金 能弘 Associate Producer: Kim Yoshihiro
プロデューサー：新船洋子 Producer: Shinfune Yoko



磨赤兒プロフィール

1943年生まれ。奈良県出身。
1965年、唐十郎の劇団「状況劇場」に参画。
唐の「特権的肉体論」を具現化する役者として、1960～70年代の演劇界に大きな変革の嵐を起し、多大な影響を及ぼす。1966年、役者として活動しながら舞踏の創始者である土方巽に師事。1972年、大駱駝艦を旗揚げし、舞踏に大仕掛けを用いた圧倒的スペクタクル性の強い様式を導入。“天賦典式”（てんぶてんしき：この世に生まれ入ったことを大いなる才能とする）と名付けたその様式は、国内外で大きな話題となり、「Butoh」を世界に浸透させる。精力的に新作を発表し続けているほか、舞踏手育成にも力を注ぎ、多彩な舞踏グループ・舞踏手を輩出。また、映画・TV・舞台等においても独特の存在感を放ち、ジャンルを越境し先駆的な地位を確立している。

主な受賞歴

2006年度 文化庁長官表彰
2013年 第7回日本ダンスフォーラム賞大賞
2016年 東京新聞制定 第64回舞踊芸術賞
2018年 第55回批評家大賞・ダンス出版部門（フランス）
2018年 春陽堂書店第1回種田山頭火賞
2021年度 第76回文化庁芸術祭賞 舞踊部門 大賞
2022年 第40回「ニムラ舞踊賞」



2023年5月
27日(土)・28日(日)
開場 14:30 開演 15:00

会場
宮崎市清武文化会館 半九ホール
〒889-1613 宮崎県宮崎市清武町西新町6番地5
TEL 0985-84-0181

チケット発売日
2023年4月21日(金)

料金
(全席指定・税込/前売り・当日共通)
一般◎3,000円
U-25◎1,500円
(当日要証明書提示)

※就学前のお子様はご入場いただけません。
※U-25チケットは公演当日時点で25歳以下の方が対象です。
入場時に生年月日の確認できる証明書をご提示ください。

チケット取扱い
イープラス <https://eplus.jp/>

お問合せ
大駱駝艦 0422-21-4984
<http://www.dairakudakan.com/>

主催：一般社団法人現代舞踊協会
キャメルアーツ株式会社
助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復
地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会

